

# 川へふなをにがす

小川未明

青空文庫



少年しょうねんは、去年きょねんのいまごろ、川かわからすくいあみで、ふなの

子こを四、五ひきばかりとつてきました。そして、庭にわにおいてあつた、水盤すいばんの中なかに入いれました。ほかにも水盤すいばんには、めだかや、金魚きんぎょがはいっていました。

「けんかを、しないだろうかね。」と、少年しょうねんは、心配しんぱいしました。

「入いれ物ものが、大おおきいから、だいじょうぶだろう。」と、友ともだちがいました。

赤あかい金魚きんぎょ、黄きいろ色なめだか、うすずみ色いろをした、ふなの子こは、思おもい思おもいに泳およぎまわっていました。まだ小ちいさいから、こんな中なかで

も広い世界ひろ せかいとおも  
思おもうのか、満まん足ぞくするよう  
に、べつに魚さかなどうしで、

けんかをするようすも見みえませんでした。

その後ご、雨あめのふる日ひもあつたし、また、月つきの照てらす晩ばんもありま

した。そのうち、秋あきになり、冬ふゆとなつて、だんだん水みづが冷つめたくな

ると、しぜん魚さかなたちは、元げん氣きがなくなつて、下したの方ほうへ沈しずんでいま

した。

「兄にいさん、ずいぶん魚さかなが、すくなくなつたね。」と、弟おとうとが、庭にわへ

出でると、いいました。

ともかく、寒さむい、水みづの凍こおる冬ふゆをこし、あたたかな春はるになるまで

に、生いきのこつたのは、わずか五、六ぴきしかありません。その

中なかに、ふなが二にひきいました。

「強いやつばかり、のこつたのだな。」

弟は、水盤おとうと すいばんをのぞきながら、

「ごらん、兄さんにい、ふなが、あんなに大きくなつた。」と、いつて、びつくりしました。

「よく生きてたね、川魚かわぎかなは、じきに死ぬんだがなあ。」と、遊びあそにきた、友だちともも、ふなを見て、いまさらのように、めずらしがりました。

それより、少年しょうねんは、ふつう、飼かい魚ぎかなでもない、ふなのうろこが、水みづのぬるんだため、紫むらさきばんで、なんとなく野性やせいのにおいがある、すがたをたまらなく、美うつくしく感かんじたのです。

「小さいうちから、この入れ物いものの中で、そだつたので、生きてい

たんだね。」と、友だちはいいました。

これは、子どもらにとつて、うれしいことだったけれど、また、ふなの身になつて考えれば、かわいそうなことでもありました。川を知らないふなは、おそらくここをすみかと信じ、安心してゐるのだらうけれど、だれがふなに川を知らせなかつたのかと、子どもらは思わずにいられませんでした。

ある日、金魚屋が、家の前を通りました。その声をきくと、少年は、あの目にしみるような、赤いきいきとした色がちらつき、じつとしておれずに、弟といつしよに外へとび出しました。今年も、金魚を買つて水盤へ入れると、新しく仲間入りをした金魚は、さすがに飼ひ魚だけあつて、あわてずゆうゆう

と、長い尾ながおをふりながら、花はなの咲さくすいれんのかげを、いたりきたりしました。ふなはいつものように、かくれていて、すがたを見みせませんでした。

午後ごごから、急に空きゆうそらが暗くらくなって夕ゆうだち立たがきそうになりました。きょうだい兄弟きょうだいが、縁側えんがわで話はなしをしていると、ぽつりぽつり雨あめがふりだしました。

「いい雨あめだね。」

「ああ、これで野菜やさいが生きかえるよ。」

見みると、水盤すいばんの面おもてにも、さざなみが立たっていました。このとき、

パチン！ と、水音みずおとがして、ふなが、二、三寸ずんも高たかくはねあ

がりました。

「川だと思つて、喜んでのだね。」と、弟が、目を輝かせました。

その夜は、たくさん星が出て、空が洗われたようにきれいでし

た。少年は、いまごろ川では、魚たちが、流れを、自由に上

ったり下ったり、するであらうと、その姿を想像したのです。

もし、人間でやさしい心をもっていたら、こんなせまい入れ物

の中へ、魚を入れておくのを、わるいと思わぬものはなからうと、

考えたのです。

あくる日、少年は、弟をつれて、ふなを川へにがしにいき

ました。







# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 14」講談社

1977（昭和52）年12月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「太陽と星の下」あかね書房

1952（昭和27）年1月

※表題は底本では、「川《かわ》へふなをにがす」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2018年4月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 川へふなをにがす

小川未明

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>